



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月30日

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所 東
 コード番号 2300 URL <http://www.ci-kyokuto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 年廣
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川崎 昌之 (TEL) 092-503-0050
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	5,670	△1.1	382	25.5	449	23.8	329	68.6
26年2月期第3四半期	5,731	5.3	304	△20.3	363	△16.5	195	△12.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	59.52	—
26年2月期第3四半期	35.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	5,625	3,833	68.1
26年2月期	5,262	3,555	67.6

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 3,833百万円 26年2月期 3,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
27年2月期	—	5.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,370	4.1	359	242.4	420	130.8	311	345.3	56.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	5,551,230株	26年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	9,541株	26年2月期	9,511株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	5,541,719株	26年2月期3Q	5,541,688株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(追加情報)	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益と雇用・所得環境が改善するもとで緩やかな回復傾向が続いております。一方で個人消費は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が長引いており、加えて円安や海外情勢の悪化及び天候不順の影響を受けて消費物価が上昇するなど、消費支出の低迷が続いております。

当社におきましても、消費者の節約志向が続くなかで需要の回復が遅れており、加えて円安によるコストの増加など、引き続き厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中で当社は、創業50周年にあたる節目の年として、また、経営革新3ヵ年計画の最終年度として「NBM-14(ニュー・ビジネス・モデル2014)」の方針に基づき、積極的な設備投資と女性を中心とした運営体制の強化に取り組みました。

営業面においては、POSレジオンラインシステムの導入と8月より直営店の全スタッフが参加する「営業ミーティング」の実施をスタートしました。これにより、サービス改善とお客様満足度の向上及び店舗の活性化を図りました。加えて、販促活動として、恒例の「秋のプレゼントキャンペーン」を全社で実施しました。

また、新規出店は、新たに13店舗を出店し、需要の拡大に努めましたが、不採算店の閉鎖や取次店オーナーの高齢化に伴う閉鎖により21店舗を閉鎖したため、当第3四半期累計期間末の店舗数は746店(前事業年度末に比べて8店舗の減少)となりました。

生産面においては、新しいクリーニング機械設備の導入と女性を中心とした生産性改善の継続した取り組みにより、工場・プラントの生産性は向上し、成果を上げております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は5,670,966千円と前年同四半期と比べ60,334千円(1.1%)の減収となりました。

利益につきましては、設備投資による費用が増加したものの、工場・プラントにおける生産性改善の継続した取り組みの結果、営業利益は382,078千円と前年同四半期と比べ77,549千円(25.5%)の増益、経常利益は449,834千円と前年同四半期と比べ86,472千円(23.8%)の増益となりました。

また、特別利益に固定資産売却益127,602千円を計上したことなどにより、四半期純利益は329,870千円と前年同四半期と比べ134,201千円(68.6%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて453,537千円増加し、2,023,845千円となりました。これは、現金及び預金が376,208千円、売掛金が35,820千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて91,082千円減少し、3,601,399千円となりました。これは、無形固定資産が29,623千円増加したものの、投資その他の資産が76,141千円、有形固定資産が44,564千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて362,454千円増加し、5,625,245千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて142,635千円増加し、1,060,255千円となりました。これは、特別会員制度の改定に伴いポイント制度を廃止したことからポイント引当金が149,101千円減少したものの、未払法人税等が163,396千円、未払金が57,715千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて57,455千円減少し、731,786千円となりました。これは、長期借入金が94,160千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて85,180千円増加し、1,792,041千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて277,274千円増加し、3,833,203千円となりました。これは、利益剰余金が268,911千円増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年4月14日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	
ポイント引当金	ポイント交換による金券発行に備えるため、当事業年度末のポイント残高に対する将来の金券発行見積高を計上しておりましたが、特別会員制度の改定に伴い平成26年11月30日をもってポイント制度を廃止しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,305,956	1,682,165
売掛金	52,321	88,141
商品	28,793	34,524
原材料及び貯蔵品	23,446	21,657
前払費用	85,511	81,060
その他	74,278	116,296
流動資産合計	1,570,307	2,023,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	582,840	548,740
土地	1,959,836	1,959,836
その他(純額)	111,981	101,517
有形固定資産合計	2,654,659	2,610,094
無形固定資産		
のれん	48,529	39,476
その他	47,784	86,460
無形固定資産合計	96,314	125,937
投資その他の資産		
差入保証金	528,407	519,396
その他	413,101	345,970
投資その他の資産合計	941,508	865,367
固定資産合計	3,692,482	3,601,399
資産合計	5,262,790	5,625,245
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,188	43,801
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	162,960	126,644
未払金	312,010	369,726
未払法人税等	42,777	206,173
賞与引当金	24,116	37,413
ポイント引当金	149,101	-
資産除去債務	360	362
その他	95,105	176,134
流動負債合計	917,619	1,060,255
固定負債		
長期借入金	335,154	240,994
退職給付引当金	114,277	121,360
役員退職慰労引当金	121,852	121,139
資産除去債務	101,844	103,538
その他	116,113	144,754
固定負債合計	789,241	731,786
負債合計	1,706,861	1,792,041

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	2,606,417	2,875,329
自己株式	△3,108	△3,123
株主資本合計	3,554,375	3,823,271
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,553	9,931
評価・換算差額等合計	1,553	9,931
純資産合計	3,555,928	3,833,203
負債純資産合計	5,262,790	5,625,245

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	5,731,300	5,670,966
売上原価	1,749,350	1,652,602
売上総利益	3,981,949	4,018,363
販売費及び一般管理費	3,677,420	3,636,285
営業利益	304,528	382,078
営業外収益		
受取利息	859	352
受取配当金	450	557
受取家賃	26,461	29,962
その他	48,430	41,581
営業外収益合計	76,202	72,454
営業外費用		
支払利息	4,527	3,003
賃貸借契約解約損	12,663	-
その他	177	1,693
営業外費用合計	17,369	4,697
経常利益	363,361	449,834
特別利益		
固定資産売却益	-	127,602
特別利益合計	-	127,602
特別損失		
固定資産除却損	9,593	1,770
和解金	3,000	-
債権放棄損	11,445	-
投資有価証券評価損	-	153
特別損失合計	24,038	1,923
税引前四半期純利益	339,323	575,513
法人税等	143,653	245,642
四半期純利益	195,669	329,870

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当第3四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

取得による企業結合

(株式会社朝日化学大阪)

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社朝日化学大阪

事業の内容 ホームクリーニング業

②企業結合を行った主な理由

ホームクリーニング業の更なる拡大と収益向上のため

③企業結合日

平成26年12月1日

④企業結合の法的形式

事業の譲受け

(2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

①取得原価

49,443千円

取得原価の対価として同額の金銭を交付しております。

②取得原価の内訳

固定資産 41,103千円

のれん 8,339千円

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん

8,339千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したもの

③償却の方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

建物及び構築物 1,182千円

差入保証金 21,444千円

その他 18,476千円